

2023年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年5月12日

上場会社名 サイボウズ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4776 URL <https://cybozu.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 青野 慶久
 問合せ先責任者(役職名) 経営支援本部 (氏名) IR担当 (TEL) (03) 6671-9525
 四半期報告書提出予定日 2023年5月12日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第1四半期の連結業績(2023年1月1日～2023年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第1四半期	6,059	16.9	1,238	295.2	1,257	188.8	907	361.3
2022年12月期第1四半期	5,184	16.5	313	△66.1	435	△54.1	196	△64.7

(注) 包括利益 2023年12月期第1四半期 1,161百万円(-%) 2022年12月期第1四半期 46百万円(△87.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第1四半期	19.08	-
2022年12月期第1四半期	4.29	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第1四半期	16,500	9,695	58.8
2022年12月期	15,907	4,630	29.1

(参考) 自己資本 2023年12月期第1四半期 9,695百万円 2022年12月期 4,630百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	-	0.00	-	13.00	13.00
2023年12月期	-	-	-	-	-
2023年12月期(予想)	-	0.00	-	14.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日～2023年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	25,497	15.5	2,376	288.4	2,450	148.1	1,541	-
								32.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、2023年1月5日に第三者割当による自己株式処分を行いました。連結業績予想の「1株当たり当期純利益」は、当該影響を考慮しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 6 「(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年12月期1Q	52,757,800株	2022年12月期	52,757,800株
② 期末自己株式数	2023年12月期1Q	5,139,478株	2022年12月期	6,879,539株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年12月期1Q	47,541,004株	2022年12月期1Q	45,878,302株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 1「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する説明	1
(2) 財政状態に関する説明	1
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	1
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	2
(1) 四半期連結貸借対照表	2
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(会計方針の変更)	6
(収益認識関係)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

	前第1四半期 連結累計期間 (自2022年1月1日 至2022年3月31日)	当第1四半期 連結累計期間 (自2023年1月1日 至2023年3月31日)	対前年同期比 (増減額)	対前年同期比 (増減率)
連結売上高	5,184百万円	6,059百万円	874百万円	16.9%
営業利益	313百万円	1,238百万円	925百万円	295.2%
経常利益	435百万円	1,257百万円	822百万円	188.8%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	196百万円	907百万円	710百万円	361.3%

2011年11月に提供を開始したクラウドサービスは、ご利用いただいている契約社数が55,000社、契約ユーザーライセンス数が250万人を突破し堅調に推移しております。

このような状況下において、当第1四半期連結累計期間の連結業績につきましては、クラウド上で提供するサービスの売上が引き続き積み上がり、連結売上高は6,059百万円(前年同期比16.9%増)となりました。このうち、クラウド関連事業の売上高は5,229百万円(前年同期比22.3%増)となっております。利益項目につきましては、従業員数増加等により人件費が増加した一方、前期の積極的な広告宣伝投資に対して当期は認知度維持のための投資に抑えていることにより広告宣伝費が減少した影響等から、営業利益は1,238百万円(前年同期比295.2%増)となり、為替予約に係る為替差益が減少した影響等から、経常利益は1,257百万円(前年同期比188.8%増)となりました。また、法人税等計上後の親会社株主に帰属する四半期純利益については907百万円(前年同期比361.3%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第1四半期 連結会計期間 (2023年3月31日)	対前年比 (増減額)
資産合計	15,907百万円	16,500百万円	592百万円
負債合計	11,277百万円	6,805百万円	△4,471百万円
純資産合計	4,630百万円	9,695百万円	5,064百万円

資産合計につきましては、現金及び預金が減少した一方、クラウドサービス用のサーバー増設等により工具、器具及び備品が増加、上場株式の株価上昇により投資有価証券が増加した影響等から、前連結会計年度末に比べ592百万円増加し、16,500百万円となりました。

負債合計につきましては、金融機関からの借入返済により借入金が減少した影響等から、前連結会計年度末に比べ4,471百万円減少し、6,805百万円となりました。

純資産合計につきましては、剰余金配当596百万円を実施した一方、親会社株主に帰属する四半期純利益907百万円の計上により利益剰余金が増加、第三者割当による自己株式処分により資本剰余金が4,045百万円増加、自己株式が454百万円減少した影響等から、前連結会計年度末に比べ5,064百万円増加し、9,695百万円となり、自己資本比率は58.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年12月期の連結業績予想につきましては、2022年12月15日に公表した内容から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,124	4,434
売掛金	2,821	2,934
未収入金	738	694
仕掛品	0	1
原材料及び貯蔵品	31	42
その他	546	733
貸倒引当金	△4	△4
流動資産合計	9,257	8,836
固定資産		
有形固定資産		
建物	1,220	1,220
減価償却累計額	△525	△548
建物(純額)	695	672
工具、器具及び備品	7,337	8,445
減価償却累計額	△4,437	△4,797
工具、器具及び備品(純額)	2,900	3,647
建設仮勘定	0	-
有形固定資産合計	3,596	4,320
無形固定資産		
ソフトウェア	122	128
ソフトウェア仮勘定	15	20
その他	19	18
無形固定資産合計	156	167
投資その他の資産		
投資有価証券	1,291	1,662
敷金及び保証金	877	880
繰延税金資産	700	608
その他	29	25
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	2,897	3,176
固定資産合計	6,650	7,664
資産合計	15,907	16,500

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2	0
短期借入金	2,200	500
1年内返済予定の長期借入金	2,480	-
未払金	1,335	1,059
未払費用	1,030	793
未払法人税等	251	398
契約負債	3,613	3,452
ポイント引当金	58	67
その他	171	399
流動負債合計	11,143	6,671
固定負債		
資産除去債務	130	130
その他	3	3
固定負債合計	133	133
負債合計	11,277	6,805
純資産の部		
株主資本		
資本金	613	613
資本剰余金	976	5,022
利益剰余金	3,928	4,238
自己株式	△1,800	△1,346
株主資本合計	3,718	8,529
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	683	905
為替換算調整勘定	228	261
その他の包括利益累計額合計	911	1,166
純資産合計	4,630	9,695
負債純資産合計	15,907	16,500

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)
売上高	5,184	6,059
売上原価	401	524
売上総利益	4,783	5,534
販売費及び一般管理費		
人件費	1,758	2,110
業務委託費	238	244
広告宣伝費	1,389	746
退職給付費用	10	10
研究開発費	43	138
その他	1,029	1,045
販売費及び一般管理費合計	4,469	4,295
営業利益	313	1,238
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	4	5
為替差益	96	7
会費収入	8	9
その他	15	10
営業外収益合計	124	33
営業外費用		
支払利息	2	2
売上債権売却損	0	9
その他	-	1
営業外費用合計	2	14
経常利益	435	1,257
特別利益		
固定資産売却益	0	-
特別利益合計	0	-
特別損失		
減損損失	1	-
固定資産除売却損	-	0
特別損失合計	1	0
税金等調整前四半期純利益	434	1,257
法人税、住民税及び事業税	92	357
法人税等調整額	144	△6
法人税等合計	237	350
四半期純利益	196	907
親会社株主に帰属する四半期純利益	196	907

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)
四半期純利益	196	907
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△204	221
為替換算調整勘定	54	32
その他の包括利益合計	△150	254
四半期包括利益	46	1,161
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	46	1,161

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年1月5日付で、株式会社リコーから第三者割当による自己株式処分の払込を受けました。当該自己株式処分により、当第1四半期連結累計期間において資本剰余金が4,045百万円増加、自己株式が454百万円減少しております。この結果等により、当第1四半期連結会計期間末において資本剰余金が5,022百万円、自己株式が1,346百万円となりました。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

収益認識の時期別に分解した顧客との契約から生じる収益は以下のとおりであります。

なお、当社グループ(当社及び連結子会社)の報告セグメントは「ソフトウェアの開発、販売」のみであり、その他の事業セグメントは開示の重要性が乏しいため、セグメントごとの記載を省略しております。

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)
一時点で移転される財又はサービス	224	191
一定期間にわたり移転される財又はサービス	4,960	5,867
顧客との契約から生じる収益	5,184	6,059
外部顧客への売上高	5,184	6,059